



なないろだより

調布なないろ保育園2月園だより



令和8年2月2日（月）
調布なないろ保育園
園長 高橋真登香

「山の点検隊長、誕生！？」

新しい年を迎えてから、もうひと月が経ちました。何かと慌ただしくなってくるこの時期ではありますが、毎日子ども達からもらう元気パワーで、エネルギーチャージしながら、日々を暮らしています。

先月初めのある日のこと。今年度はいつもよりも長い年末・年始休を経て、新年を迎えた保育園ですが、休園中には雪の降った日があり、久しぶりの縁庭は霜柱があったり、氷が張っているところもあったりで、縁庭の地面は、急な温度差や空気の乾燥もありだいぶ濁っている状態でした。しかもなんと、新しい山にはところどころにひび割れが。これにあるお友達が気づきました。もう一人の子も加わり、「よし！この割れているところ、直そう！」という事に。さっそく準備を開始しました。土と水をバケツに入れて溶かして…混ぜているうちに「僕も手伝うよ！」と新たなメンバーも合流。傍にいた保育士を加え、4人で何度も土を作ってはひび割れたところにシャベルで流し入れ、上から叩いて固めて、もう一度土を重ねます。この繰り返しをかれこれ1時間近く（！）続けていました。たまたまその光景を縁庭に出たタイミングで私も目にしたのですが、あえてその場では声を掛けず、そのまま室内へ。いつも通り事務室で仕事をしていると、しばらくして作業が終わった4名がそろそろ〜と入室してきました。そのまま私の近くまできて、恥ずかしそうに「…滑り台のお山、直しました…」とひとこと。実は、この作業に携わったお友達3人は、どの子も普段は控えめな男の子達。リーダーシップを発揮して…というよりも、お友達の後ろで、じっくりと各々の力を発揮していくタイプのメンバーでした。コツコツと作業して達成感もあったのでしょう、「園長先生に教えよう！」という事になったとのこと。報告に来てくれたメンバーに、「やってくれているところを見たよ。嬉しかったよ！ありがとうね！」と返事すると、ちょっと照れながらも、とてもうれしそうに帰っていきました。この時のことを記録した保育士は、いつもあまり前に出てこない子達だからこそ、自分たちで考え、動いたことが、人のためになり、認めてもらえたことで、今後経験する様々なことへの自信に繋がるといいなと思うと記していました。初めにひび割れに気づいてくれた子に、改めてあの時の話をしたところ、「赤ちゃんとかみんなで使うから、点検しようと思って！」と頼もしい答えが。優しく思いやりのある子に育ってくれて、本当にありがとう！…なんとも言えない気持ちで、胸がいっぱいになりました😊

さて、こうしてみんなでメンテナンスもしながら（?!）新しい山と遊具を毎日楽しんでいますが、このほどこの山の名称が決定！！さくら組のみんなが考えてくれて、その名は「**たのしいそうじま**」！サークルタイムではたくさんの意見が出ましたが、「滑り台がゾウの鼻に見える」「ホットケーキみたいな島に見える」「みんなで楽しく遊ぶところ」…などを合わせてできた名前です。今年のさくら組の子達らしい、素敵なネーミング♥看板も作ってくれるとの事で、完成が待ち遠しいです。

それぞれの思いが詰まった「たのしいそうじま」。ここで育つ子ども達の未来に乞うご期待ください☆



今では、沢山の隊員が加わって毎日山のメンテナンスをしてくれています♡



2歳になります 1名
4歳になります 2名



【2月】

2日（月）節分の会
3日（火）観劇会 / SV 観察
13・20・27日（金）太鼓・よさこい指導（4・5歳児）
14日（土）全体保護者会 / 新入園児面談・健診
17日（火）お茶指導（5歳児）
18・24日（水）卒園式予行
19日（木）誕生会 / おつかフェ
20日（金）健康診断（0歳児）
26日（木）わくわく♪異年齢児交流

【3月】

2日（月）卒園式予行
4日（水）新入園児離乳食講座
5日（木）誕生会 / 健康診断（0歳児）
6日（金）太鼓指導
9日（月）SV 観察
13日（金）卒園式（お茶指導）
25日（水）素話の会（3・4歳児） / おつかフェ
26日（木）わくわく♪異年齢児交流

おたんじょうび
おめでとう！！

クラス懇談会

2月24日（火）つぼみ組
25日（水）すみれ組
26日（木）たんぽぽ組
27日（金）ちゅーりっぷ組
3月 3日（火）ひまわり組

※あんず組にて16時～17時で行います。



お知らせ

＊2月14日（土）に全体保護者会がありますので、お時間がある方はぜひご参加ください。
なお、詳細は追ってコドモンにてお知らせいたします。
＊2/9～2/21まで明星大学の学生が保育実習で来園します。
＊今月より4月開園予定の新園の準備のため、担当職員の研修が随時入ります。
ご理解の程、よろしくお願い致します。





縁庭改築のあゆみ・・・

ご縁が繋がっていく、お庭になりますように・・・

今のなないろ保育園の縁庭（園庭）には、冒険ハウスにポンプ山、トムソーヤなどの遊具や桜やどんぐり、金柑や葡萄、オシロイバナやミント、そして最近ではユズリハやハナミズキ、ヤマボウシなどの木々も加わり、季節を彩るようになってきました。子ども達はその中で色々な遊び場所を見つけ、発見をしたり、探索をしたり、何かに見立てたり、くぐり抜けて走り回ったりと、大人が思い描いていた以上に楽しんで遊び、「今日は何して遊ぶ？」と聞くと、「縁庭で遊びたい！」と言う程、大好きな庭になってくれているようです。令和2年度改築前のなないろ保育園の縁庭をご存知の方は年々卒園児が増えていく毎に少なくなっていっているのではないのでしょうか。改築前の縁庭は、今もあるトムソーヤの他にすみれ組のテラスの前に砂場があり、外壁フェンスに沿うようにしてその隣りにブランコと雲梯が並んで建っていました。



その頃は縁庭の遊びにも様々なルールがあり、今のようにどこでもいつでも自由に水遊びもしていませんでしたし、スクーターにも遊びの制限がありました。保育をしていく中で、これっておかしくない？ということをおもひ始め、子ども達の生活や遊びから立ち返り、「へんてこルール探し」を始めました。へんてこなルールをやめるようになると、子ども達にとっての魅力ある縁庭ってどんな場所なんだろうということになりました。ここから、保育園の縁庭改築がはじまりました。月一回行っている園内研修の中で・・・

『子どもや大人が楽しい！遊びたい！と思う縁庭はどんな環境だろうか。』

『子ども達にどんな遊びをさせたいか。どんな力がついて欲しいか。』をもとに考えていきました。

- ・自然が豊かで広々と気持ちのよい縁庭
- ・四季をかんじることができる縁庭
- ・実のなる樹木のある縁庭
- ・昆虫が集まる縁庭
- ・いろいろな感触に触れられる縁庭（泥・砂・水・芝生など）
- ・日陰ができる木のある縁庭
- ・凸凹のある縁庭
- ・死角もある程度あり、隠れることが出来る場所のある縁庭
- ・体幹が鍛えられる縁庭
- ・子どもが遊びを選べる縁庭
- ・子ども達が工夫できる縁庭
- ・「科学」「発見」のある縁庭
- ・発展性のある遊びができる縁庭
- ・挑戦できる縁庭
- ・遊びが継続できる縁庭
- ・わくわく・ドキドキ・ハラハラすることができる縁庭
- ・登る・揺れる・渡る・跳ぶなど、四肢を十分に使う遊びが出来る縁庭

職員からはこのような意見が出て、これらの意見を形にするために、その後も話し合いを重ねていきました。

そして、園内研修の中で話し合いを重ねていきながら令和2年度第一弾として、砂場・ブランコ・雲梯からの冒険ハウスとポンプ山（命名は令和2年度さくら組）への改築でした。そして、今まさに話し合いを進めているのが、トムソーヤの今後、第二弾の縁庭改築です。

第一弾の改築が始まる際、トムソーヤは撤去して緑化していくなどの方向性でいました。その時点では、子ども達の遊びの姿を見ていて、トムソーヤの役目は経年劣化も含めて、もう終わったかのように見えていたのですが・・・

冒険ハウスやポンプ山ができてみると、子ども達の遊びの拠点にまたトムソーヤの存在が大きくなってきていることに気がきました。大きいクラスの子達の関心が冒険ハウスに向き、乳児クラスの子達がゆったりとトムソーヤでよく遊ぶようになったのです。また、トムソーヤで遊ぶことによる身のこなしが、いづれ冒険ハウスで遊ぶ時の身のこなしへと繋がっていくということでもあるのです。そうなってくると、トムソーヤはこのまま残したい！という思いが強くなってきました。ですが、トムソーヤも年を重ね、経年劣化が進んでいるため、今後の安全性を考えていくとやはり今のままというわけにはいかないのです。

そこで、縁庭改築第二弾！！ トムソーヤに代わる遊び場を作ろう！ ということで

子ども達の遊びの姿を見ながら園内研修の中で話し合いを進め、トムソーヤに備わっていた遊ぶために必要な身のこなしと同じくらいの機能性のある遊び場とはどんなものなのかを話し合い、ついに完成！



「こうやってのぼるのか…」と隣にいるお姉さんの様子を見てつぼみ組やすみれ組の子たちもクライミングに挑戦！



「ショベルカーでなにしてるのかなぁ…」



新しい遊具の名前は…

「**たのしいそうじま**」です！

さくら組の子達が意見を出し合って決めてくれました♪

新しい遊具が完成したのを見て職員からは「ここから転げ落ちる子いるよね…」「乳児も幼児もごちゃ混ぜで遊ぶと危険💧」「土管から出てきた時にジャンプする子とバッティングするんじゃない？」「土管の中でケンカが起きたら止められないのでは？」と心配事は尽きませんでしたが、いざ遊び始めると「土管からジャンプする時は下に誰もいないか確認する」「山の上から物は転がさない」など幼児クラスの子たちは約束事を自分たちで決め、乳児クラスの子たちはお兄さん達の遊ぶ様子を見て遊び方を学び山登りやクライミングに挑戦しています。

今後もトムソーヤに替わる新しい遊具で、子ども達が様々な遊び方を発見し楽しんでくれればいいなと思います。また、新しくなった縁庭でなないろらしさがたくさん詰まった行事になることを期待しています♪